# 桐生市下水道事業ストックマネジメント全体計画

問い合わせ=下水道課業務係(☎内線749)

# 桐生市の下水道事業

桐生市の下水道事業は、渡良瀬川左岸を対象エリアとする境野処理区と、渡良瀬川右岸を主な対象エリアとする桐生処理区に分かれています。

境野処理区では昭和42年6月に境野水処理センターが施設運転を開始、桐生処理区では昭和60年に広沢水処理センター(現・桐生水質浄化センター)が施設運転を開始しました。

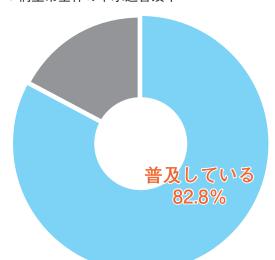
令和3年度末の下水道普及率は、境野処理区が98.7パーセント、桐生処理区が88.0パーセントです。桐生市全体の下水道普及率は82.8パーセントで、県内12市で1位です。



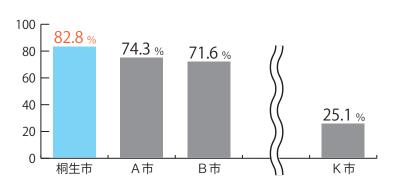
# A

#### 群馬県内12市で最高の普及率

▼桐生市全体の下水道普及率



#### ▼県内12市の下水道普及率





# 下水道の役割

下水道は、見えないところで、私たちの快適な生活を支えています。



#### まちをきれいにする

汚水は下水道管を流れ、下水処理場で浄化されます。 汚水を処理することで、衛生的な生活が営めます。



#### トイレの水洗化と生活排水の処理

トイレの水洗化で、家の中の嫌な臭いがなくなります。また、台所などからの汚水も下水道に流せて、ま ちが清潔になります。



#### 浸水からまちを守る

降った雨が下水道管に入ることで、浸水からまちを守ります。



#### きれいな水辺をつくる

汚水を浄化して川や海などに戻すことで、水質を保全 し良好な水環境を維持します。下水道の整備とともに 汚れた川がきれいになり、本来の生態系が復活します。

# 下水道事業の具体的な課題

- ①人口減少に伴い排水される汚水量も減少し、施設規模が過大となっている
- ②老朽化した下水処理施設の健全な運転管理を保つため、早急な改築更新が必要
- ③浸入水(不明水)が管路施設へ流入することにより、下水処理が非効率となっている
- ④ 敷地が狭い境野水処理センターは、効率的な改築更新と施設の耐震補強が必要



# ストックマネジメント計画とは?

下水道施設の老朽化など、施設全体の状態を把握し優先順位を定めることで、施設の点検、調査、修繕、

改築を適正かつ効率的に実施し、 最適な施設管理を行うための計画 です。

### ▶計画の目的◀

境野水処理センターをはじめと

した下水処理施設は運転開始から50年を超えるもの も多く、施設の老朽化が深刻な問題です。

そこで、施設のライフサイクルコスト(建設から役目を終えるまでの全期間にかかる総費用)の低減を図りつつ、維持・修繕と改築を行い、今後も市民の皆さんへ安全・安心な下水道サービスを持続的に提供するために「桐生市下水道事業ストックマネジメント全体計画」を策定しました。

キノピー

# 計画の主な内容

#### 境野水処理センターの施設の改築更新

電気棟、機械棟の新築や下水処理施設の耐震化を実施します。



▲電気棟制御室



▲機械棟外観



## 汚水中継ポンプ場の改築更新

市内各所に設置されている汚水中継ポンプ場の設備の更新や耐震化を実施します。



▲浜の京汚水中継ポンプ場外観



▲汚水ポンプ



## 下水道管路施設の改築更新

すでに設置されている管路施設の更新や、管路施設への浸入水対策を実施します。



▲下水道管内の調査



▲管内の状況









6. 安全な水とトイレを世界中に14. 海の豊かさを守ろう

# 計画期間

令和4年度から令和33年度までの30年間



◀市ホームページ(桐生市 下水道事業ストックマネ ジメント全体計画)

# 改築事業の全体スケジュール

	令和4~13年度					令和 14 ~ 23 年度					令和 24 ~ 33 年度				
境野水処理 センター改築		設計・工事													
ポンプ場改築															
	設計・工事														
管路施設改築															
		調査・設計・工事													

※調査や工事を進めていくなかで、変更となる可能性があります。

# 令和9年度までのスケジュール

境野水処理センター…使用していない施設の一部撤去を行い、新しい施設の設計や工事に着手します。

ポンプ場…耐震診断の実施、機械や電気設備などの改築更新に着手します。

管路施設…管内の状態を調査し、改築更新のための設計や工事に着手します。

# 具体的な今後の方向性

- ①適切な施設規模を決定したうえで、計画的に改築を進め、処理場施設の再構築を実施
- ②境野水処理センターにおける設備の改築と連携した効率的な耐震補強を実施
- ③不明水の現状把握と管路施設への不明水量の削減に努め、適切な計画汚水量の見直しを実施
- ④今後の人口減少などを踏まえ、適切な計画汚水量の見直しに基づく施設のダウンサイジングも考慮し、段階的に 施設の改築・再構築を実施

桐生市長 荒木 恵司 循環を目指します。 のデジタル化と地域経済の好 ていますので、 フォンアプリや専用カードに 電子地域通貨「桐ペイ」を導 環として、市内限定で使える にお使い ボイント付与するほか、イベ トとして、チャージの際にチ 人します。 感謝申し上げます。 ナウイルス感染症の感染防止 ント付与も予定しています。 ナャージして使う電子マネー に多大なるご協力をいただき ノーズン、 トキャンペーンなどのポイ 桐ペイの導入により、 桐生市では感染症対策の一 利用開始は、11月を予定し ジ額の3パーセント分を ・民の皆様には、 今回プレミアムポイン いただきたいと思 年末年始など便利 現金をスマート 秋のイベント 新型コロ 地

電子地域通貨「桐ペイ」 を導入します



こんにちは